allcinema

花嫁のパパ（1991）

FATHER OF THE BRIDE

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 105分
初公開日 1992/08/08
公開情報 ＷＢ

【キャッチコピー】
パパにとって、　娘は最後の恋人なのです。

【解説】
「花嫁の父」のリメイク。原題はオリジナルと同じなのに、４０数年たつと、邦題は“パパ”になっちゃた。日本語が乱れてるんでしょうか。ま、それだけ内容が軽くなってる気もしますが。
“パパ”に扮するのは、近頃妙に落ち着いてきてつまらないＳ・マーティン（好演ですがね）。スポーツ靴メーカーの経営者で、娘をローマ留学に出す余裕があるんですから、まずはお金持ち。奥方（Ｄ・キートン。彼女は見事にプチブル・ママの雰囲気）にもいい衣装を着せています。そんな設定に白けちゃうんだけど（嫁入り道具を揃えたりする所も最早“夢”を感じさせるワケでもないし）、可愛い娘（本作でデビューのＫ・ウィリアムズ）が帰ってきて、いきなり結婚宣言。マーティンの動転ぶりがまずやや愉快。相手は非の打ち所のない資産家の好青年。周囲は大乗り気でパパもしぶしぶ了承。そこからが大変……というのはオリジナルとほぼ同じ。専門のコーディネーターを雇い（これが妙なオカマだけどセンスは確か）、自宅での式に向け着々準備を進めていく張り切りママ。パパはそんな大げさじゃなく、身内だけで気の置けぬ雰囲気で……と考えているのだが、あっさり否定されてしまう。オリジナルにも増して女は強し！という気にさせます。彼らには娘より大分年下のクールな息子がいるのだが、それをマコーレーの弟Ｋ・カルキン君が演じています。役者はいいけど演出に特筆するものがないタッチストーン映画って所かな。

【クレジット】

監督	チャールズ・シャイア	Charles Shyer
製作	ナンシー・マイヤーズ	Nancy Meyers
	キャロル・バウム	Carol Baum
	ハワード・ローゼンマン	Howard Rosenman
製作総指揮	サンディ・ガリン	Sandy Gallin
	ジェームズ・オール	
	ジム・クルークシャンク	Jim Cruikshank
共同製作	シンディ・ウィリアムズ	Cindy Williams
脚本	フランセス・グッドリッチ	Frances Goodrich
	アルバート・ハケット	Albert Hackett
	ナンシー・マイヤーズ	Nancy Meyers
	チャールズ・シャイア	Charles Shyer
撮影	ジョン・リンドレー	John Lindley
音楽	アラン・シルヴェストリ	Alan Silvestri
出演	スティーヴ・マーティン	Steve Martin

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ダイアン・キートン	Diane Keaton
キンバリー・ウィリアムズ	Kimberly Williams
キーラン・カルキン	Kieran Culkin
ジョージ・ニューバーン	George Newbern
マーティン・ショート	Martin Short
Ｂ・Ｄ・ウォン	B.D. Wong
ピーター・マイケル・ゴーツ	Peter Michael Goetz
ケイト・マクレガー＝スチュワート	Kate McGregor-Stewart
ギビー・ブランド	Gibby Brand

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.